

# 昭和大学新聞

学校法人 昭和大学  
発行人 小口勝司  
電話 (3784) 8000 〒142-8555  
東京都品川区旗の台1の5の8  
1部 50円 毎月1回発行

## 11月号の内容

- 1面
  - ・新たな教育施設「卒後研修棟」着工
  - ・創立者上條秀介博士の胸像
- 2面
  - ・認定看護師教育センター開講式を挙行
  - ・石川絢司講師が助成事業に採択
  - ・歯科補綴学講座から2名受賞
  - ・前田真之准教授が奨励賞を受賞
  - ・昭和大学大学院秋季入学式
- 3面
  - ・医学教育分野別評価で認定
  - ・女子プロゴルファーの笹生優花氏が昭和大学病院に寄付
  - ・ふるさと会会員募集
- 4面
  - ・「新しい生活様式」における私のステイホーム
  - ・新年号掲載写真募集のお知らせ
  - ・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名

## 【問合せ先】

【本紙について：総務課出版・WEB係】  
03-3784-8059  
press@ofc.showa-u.ac.jp

【各種募金・寄付について：企画課】  
03-3784-8387

【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】  
03-3784-8022 (旗の台)  
0555-22-4403 (富士吉田)  
045-985-6503 (横浜)  
03-3784-8026 (入学支援課)

## 医学堂書店

品川区  
旗の台  
電話(03)  
3783-9774

## 新たな教育施設「卒後研修棟」着工

### 安全祈願祭を執り行う

昭和大学卒後研修棟(仮称)の安全祈願祭が9月29日、旗の台キャンパスの建設予定地で執り行われた。安全祈願祭には本学関係者一同と施工会社の株式会社東急R・デザインの関係者一同が参列し、本学を代表して小口勝司理事長が



安全祈願祭の様子



玉串奉奠の様子



小口勝司理事長による鉄入れの儀

## 創立者 上條秀介博士の胸像

### 開学の地 昭和大学病院に設置

本学の創立者である上條秀介博士の胸像が9月29日、昭和大学病院中央棟1階総合受付横に設置された。同胸像は、本学創立90周年記念に株式会社タウンアートが制作したもので、耐久性が高く劣化もしにくいことが特徴のブロンズ製である。



## もう一つの胸像

### 上條秀介博士の還暦祝い

本学には、1953年に制作された大理石製の上條秀介博士胸像があり、今回のブロンズ製胸像はそのレプリカである。

この大理石製の胸像は、創立者上條秀介博士の還暦を祝い、本学関係者及び同窓等有志者から寄付金を募り、大理石彫刻の第一人者



大学4号館設置時

と評された北村正信氏に制作を依頼したものである。1953年11月14日に還暦祝賀会が挙行され、1、000名にも及ぶ本学関係者等が集った。祝賀会では還暦記念胸像除幕式も行われ、除幕を行ったのは、当時3歳であった現理事長の小口勝司氏である。

そして、創立90周年記念事業の一環として建設された上條記念館の竣工に伴い、2019年に昭和大学4号館から上條記念館へ移設され現在に至る。



(左から)上條秀介博士長女 小口(上條)郁子氏、小口勝司氏、上條秀介博士

## MUFG 三菱UFJ銀行

保険・資産運用・住宅ローン等のご相談は  
各最寄の店舗までお気軽にご相談下さい。

長原支店 TEL:03-3720-0171  
横浜藤が丘支店 TEL:045-971-2201  
港北ニュータウン支店 TEL:045-941-1512  
深川支店 TEL:03-3641-8301  
烏山支店 TEL:03-3307-3613

に親身になって尽くせる臨床医家を養成する」という願いのもとに、1928年昭和大学の前身となる財団法人昭和医学専門学校を設立した。以来、同校校長、戦後は昭和医科大学の学長として医学教育の発展に尽力し、一方で終戦後の食糧難の時代に医療機関の患者の食糧確保に奔走し、日本

上條博士は「国民の健康に貢献する」として、病院長に就任するなど医療界の発展に大きく寄与した。

その遺徳を偲び、開学の地である昭和大学病院に設置されることとなった。

現在も受け継がれている。



# 認定看護師教育センター開講式を挙

昭和大学認定看護師教育センター開講式が10月5日、上條記念館で挙行された。同センターは、質の高い医療を提供するマネジメン



告辞を述べる久光正学長



のコースを習得し、至誠一貫の精神を身につけ、再び現場で素晴らしい看護がで

待しています」と述べた。第1期生となる今年度は手術看護分野が12名、透析看護分野が8名の計20名が入学し、約6か月の受講期間を通して認定看護師に必要な知識・技能を学んでいく。

# 昭和大学大学院秋季入学式を挙

令和2年度昭和大学大学院秋季入学式が10月6日、上條記念館で挙行された。今年度は医学研究科8名、歯学研究科1名、薬学研究科5名、保健医療学研究科

の博士前期課程3名、同後期課程4名が入学した。今年度は新型コロナウイルスを

感染防止のため、必要な措置を講じたうえで大学院生および一部の教育職員のみで執り行われた。久光正学長は告辞で「皆さんには大きな目標が2つあります。1つは新しい発見をして論文を書くことで、もう1つは大学院を修了した後は後輩の指導にあたることです。限られた期間ではありますが、精一杯努力して素晴らしい結果を得て、後輩を育てるといった新たな仕事に就いてください」と述べた。



告辞を述べる久光正学長

# 前田真之准教授が奨励賞を受賞

## 第64回日本薬学会関東支部大会

前田真之准教授(薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門)が、第64回日本薬学会関東支部大会(9月19日、WEB開催)で、2020年度日本薬学会関東支部奨励賞を受賞した。



同学会は約1400年の歴史と会員数17,000人を擁する薬学における中核的学術団体で、その中で関東支部は全国で8つある薬学会支部のうち最大の支部である。

前田准教授が受賞した同賞は、同学会員のうち基礎薬学または医療薬学(臨床薬学を含む)に関する優れた研究業績をあげた者を対象として授与される。

前田准教授は「Antimicrobial stewardship programのアウトカム評価およびベンチマークの確立に関する研究」が高く評価され同賞に選ばれた。

このたび、2020年度日本薬学会関東支部奨励賞を受賞いたしました。日本薬学会関東支部は会員数が7,000名を超える大きな学術団体であり、その中から選考されたことは大変栄誉なことと感じております。

# 歯科補綴学講座から2名受賞

## 日本補綴歯科学会第129回学術大会

岩内洋太郎助教と楠本友里子助教(ともに歯学部歯科補綴学講座)が、日本補綴歯科学会第129回学術大会(WEB開催)にて課題口演優秀賞と課題口演賞をそれぞれ



(左)楠本友里子助教、(右)岩内洋太郎助教

受賞した。同学会は、顎口腔領域における形態と機能の異常を改善、回復し、もって国民の健康福祉の向上に貢献することを目的に1933年に発足し、6,000名以上の会員を有している。

岩内助教は演題「in vivoにおけるデジタル印象法と従来法の顎間関係再現精度についての比較検討」が課題口演分野1「Smart prostho donics」で高く評価され課題口演優秀賞を受賞した。楠本助教は演題「無歯顎患者におけるインプラント補綴

治療法の違いが口腔関連QOLに及ぼす影響」が課題口演分野2「臨床エビデンス」で高く評価され課題口演賞を受賞した。

この度日本補綴歯科学会第129回学術大会におきまして、光栄なことに課題口演優秀賞に選出いただき大変うれしく思っています。岩内助教は、私の父も専門医として所属する学会であり、そのような思い入れの深い学会で受賞出来た事を大変嬉しく思います。私が所属する歯科補綴学

講座は、未だ皆様には馴染みが薄いのですが、口腔内スキャナーを使用して日々の臨床と研究を行っており、その中で咬み合わせを記録する手順があるので、その精度にフォーカスして検証し、今まで利用されていた石膏模型を使った方法と比較して優れる結果を報告しました。本研究の成果を発表させていただく機会を与えてくださった馬場一美教授、田中晋平講師をはじめ、デジタルチームの皆様には厚く御礼申し上げます。

最後に、本研究の遂行にあたり、御指導を賜りました馬場一美教授をはじめ、多大なる御助言や御協力を賜りました諸先生方に厚く御礼申し上げます。

石川絃司講師(医学部整形外科学講座)が、日本学術振興会の2020年度藤田記念医学研究振興基金助成事業に採択された。

石川絃司講師(医学部整形外科学講座)が、日本学術振興会の2020年度藤田記念医学研究振興基金助成事業に採択された。同助成事業は医学分野のうち若手研究者に対し、主として外科系医学における研究を助成する目的で、1988年度から実施している。同助成事業への申請科目は6分野に分かれており、整形外科学関連で採択されたのは石川講師の研究課題のみであった。



石川絃司講師

カタログギフト 手配いたします

旅行 食事券 体験型スイーツ 和牛専門 など

のし・包装もお任せ

昭友商事株式会社 3784-8280

# 医学教育分野別評価で認定

## 日本医学教育評価機構

本学医学部は、医学教育分野別評価基準日本版V.2.2に基づき日本医学教育評価機構(JACME)による外部評価を受審した結果、本学の医学教育は評価基準に適合していることが認定された。認定期間は2020年11月1日から2027年10月31日までの7年間。同評価は、2010年9月に、米国医師国家試験受験資格審査NGO団体(EGFMG)が2023年以降、国際基準に基づいて認定された医学部の卒業生以外は米国での医師免許試験受験資格を得られない」との宣言をしたことから、国際的に通用する医師養成制度を確立するために発足された外部監査制度。認定により、本学医学部の卒業生はEGFMGの受験資格を認められ、本学卒業生の海外での活躍の場をいっそう後押しすることとなる。

評価報告書には特筆すべき点として「初年次の全寮制教育と中・高学年での4学部連携実習を実施することで、多職種連携教育を実践していることは高く評価できる」「指導担任制度が1年次から6年次までの全学生のために整備されている」「7つの附属病院があり、十分な実習の機会を確保している」など、本学のこれまでの取り組みが評価された。今回の認定を受け、本学は引き続き国際基準に適合する高い水準を担保する医学教育の実践に努めていく。

# 女子プロゴルファーの笹生優花氏

## 昭和大学病院に賞金全額寄付

女子プロゴルファーの笹生優花氏が医療従事者支援のため昭和大学病院に寄付をするとして9月23日、同病院で寄付金授与式が執り行われた。

笹生氏は8月初旬に行われたチャリティトーナメントで2位に入賞し、その賞金全額を寄付した。笹生氏の自宅が品川区にあることや、弟が同病院で出生した縁もあり、本学と産学連携プログラム協定を締結している城南信用金庫が仲介することで、今回の寄付が実現した。

笹生氏は海外のスポーツアスリートが寄付に熱心であることに触れ「私もこのような寄付ができることは大変嬉しいです。これからも続けていきたいです」と述べるとともに、新型コロナウイルス禍において最前線で治療に尽力している医療従事者へ感謝の意を伝えた。

これを受けて、相良博典病院長は寄付に対する感謝の言葉を述べ「スポーツは見る人に夢を与える非常に素晴らしいものです。引き続き、



(左から)下谷康博副理事長(城南信用金庫)、笹生優花氏、相良博典病院長

笹生氏は海外のスポーツアスリートが寄付に熱心であることに触れ「私もこのような寄付ができることは大変嬉しいです。これからも続けていきたいです」と述べるとともに、新型コロナウイルス禍において最前線で治療に尽力している医療従事者へ感謝の意を伝えた。

これを受けて、相良博典病院長は寄付に対する感謝の言葉を述べ「スポーツは見る人に夢を与える非常に素晴らしいものです。引き続き、



マスコミからの取材に答える笹生優花氏



ふるさと会統括主管 田中一正

昭和大学ふるさと会は、2018年に「ふるさと」をキーワードに親睦を深めること目的として、昭和大学が全職員・全学生を対象に発足しました。

ふるさと会では、春に学部2年生や新人職員を対象にした新人歓迎会、地域ごとのふるさと会、そして地域の垣根を超えた全体懇親会など、昭和大学に関係する人だれもが集える場を提供しています。

「ふるさと」という言葉は「出身地」のみならず、「現在・過去に住んでいた地域」や「思い入れのある地域」も含まれています。複数の地域に参加することも可能で、世代を超えた交流が楽しめます。

「ふるさと」を軸にした更なる繋がりを構築する場である「ふるさと会」は、皆さまの参加をお待ちしています。

# 昭和大学 ふるさと会

## 会員募集中



# 全学生、全職員のみなさん みんなで参加しよう!

活動地域 (令和2年4月現在) 活動地域拡大中!

- ①北海道
- ②東北連合(青森県、宮城県、秋田県、岩手県、山形県)
- ③福島県 ④茨城県 ⑤群馬県 ⑥新潟県
- ⑦長野県 ⑧山梨県 ⑨静岡県
- ⑩東海連合(岐阜県、愛知県、三重県)
- ⑪近畿連合(大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県)
- ⑫広島県 ⑬山口県
- ⑭四国連合(香川県、徳島県、愛媛県、高知県)
- ⑮福岡県 ⑯熊本県 ⑰鹿児島県・宮崎県

※活動地域外の地域にも入会できます。

### 入会申込の方法



お申込みはこちらのWEBフォームにて、随時受け付けしております。



問い合わせ：昭和大学ふるさと会事務窓口  
 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8  
 Tel 03-3784-8118 Mail furusato@ofc.showa-u.ac.jp  
 URL https://www.showa-u.ac.jp/about\_us/org/furusato/





「新しい生活様式」における

私のステイホーム

医学部 放射線医学講座 放射線科学部門

扇谷 芳光

今年1月に中国から昭和大学に留学した医師とお話しする機会がありました。留学生の知り合いの医師が語る武漢での新型コロナウイルスの状況

でもできる運動として、NHKの「みんなの体操」に合わせて体操をすることにしました。ただ、「みんなの体操」だけでは運動量が少ないので、同じくNHKの「みんなで筋肉体操」という番組の筋トレも行うことにしました。番組を知らない方のために、少し補足します。

緊急事態宣言下では、昼間は診療、夜間はステイホームで筋トレと地道な生活を送っていたわけですが、宣言の解除とともに、医療従事者に敬意を示すために「ブルーインパルス」が東京都心の上空を飛行するという嬉



日本でも新型コロナウイルス感染症が増加し、緊急事態宣言が発令され、ステイホームが求められるようになり、放射線科での業務はデスクワークが多いためか、当科にはスポーツジムに通う者が多くいます。その影響で、私も新型コロナウイルスの流行前はスポーツジムへの入会を検討していました。その後、スポーツジムの新型コロナウイルスのクラスターが報告されたため、入会を断念しました。

そこで、ステイホーム

と、「みんなで筋肉体操」は、「筋肉は裏切らない」というセリフが流行語大賞候補になった人気番組です。筋肉指導をする谷本道哉先生によると、腕立て伏せ(プッシュアップ)は胸がつくまで下ろさないといけません。やり方が甘い人がほとんどだそうで、学生時代の部活では、自分も胸がつくまで下ろしていま

の清涼剤となりました。新型コロナウイルスのパンデミックがいつ終息するかは分かりませんが、これからも至誠一貫の精神で診療にあたるとともに、ステイホームを継続していこうと思っています。

新年号掲載写真募集のお知らせ

昭和大学新聞新年号の一面を飾る写真を募集します。皆さまからのご応募をお待ちしております。

【条件】

- ◇風景写真(人物・絵画はNG)
◇横置き
◇デジタル画像(カラー・縮小していないもの)
◇自作未発表のもの

【応募方法】

応募写真はメールへのデータ添付もしくはファイル転送サービスをご利用ください。

◇氏名(ふりがな)、大学との関係(学生・職員・卒業生など)、撮影場所を明記。

※氏名、撮影場所を掲載しますのでご了承ください

◇締切 2020年12月4日(金)

◇送付先 昭和大学総務部総務課 出版・WEB係
E-mail : press@ofc.showa-u.ac.jp

過去にご応募いただいた写真例



昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

教育研究協力資金への寄付

【父母】伊東 周二様・あゆみ様 / 竹澤 学様

【同窓】古森 哲様(医学部・66回生)

昭和大学病院への寄付

【一般】東京都騎手会様 / 笹生 優花様

学生等の保健管理への寄付

【父母】金子 英人様

上條記念館建設への寄付

【同窓】中澤 豊紀様(歯学部・12回生)

Advertisement for Nippon Chugai featuring a woman holding a sign that says 'あなたの人生に、"かかりつけ"の安心を。' and the Nippon Chugai logo.

Advertisement for Sanwa Bank with the slogan 'お気軽にご相談を!!' and details for the Shinjuku branch, including a map and contact information.